

取扱説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
 本書では、「ヨット用ビミニトップ(以下、本製品)」の組立方法と設置方法について説明しています。
 本書をよくお読みになり本製品をボートへ設置し、安全にご使用ください。

組立・取付前に…

ご用意ください。

本製品にボートへの取付用のネジは付属しておりません。

必要工具

下記の工具はお客様の方でご準備ください。

- 電動ドリル
- スケール
- ドリルビット(ドリル刃)
- マジック
- ポンチ
- 金ノコ
- ハンマー
- マイナスドライバー

※ お客様で下記サイズに合うビス・ボルト・ナットをご用意ください。

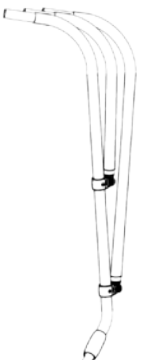
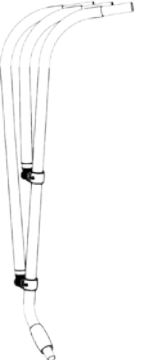

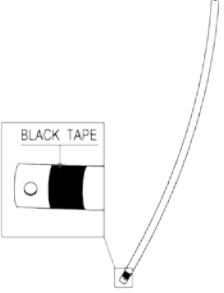











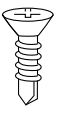
	ネジ穴サイズ
SUSデッキマウント	Φ6.5mm(M6用)
サドルアイ	Φ4.3mm(M4用)

※ タッピングビスでは強度的に弱い可能性がありますのでボルト・ナット・ワッシャーで固定する事をおすすめします。

部品リスト(各部の名称)

()内が各部品の数量です。

組立・取付を開始する前に、必ず部品が全て揃っているかご確認ください。
 万が一欠品部品がございましたら、販売店は弊社(取説末尾に記載)までご連絡ください。

1a  スタンドパイプ トップ_レフト(1)	1b  スタンドパイプ トップ_ライト(1)	1c  スタンドパイプ ボトム(2)	2A  ルーフパイプ フロント&リア(2)	2B  ルーフパイプ センター(1)	3  サポートパイプ(2)
4  フロントベルト(2)	5  ホロ(1)		6  SUSデッキマウント(2)	7  サドルアイ(2)	
8  SUSナックル(2)	9  SUS可動式ナックル(2)	10  パイプエンド(4)	11  六角レンチ3mm(1)	12  六角レンチ6mm(1)	13  皿頭ドリルネジ(2)

安全上の注意（必ずお読みください。）

注意

- * 本書に従って正しく取付をしてください。なお、本書の内容を守らなかった為の不具合・損害などにつきましては、弊社は一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。
- * 本製品はヨット用のビミニトップです。ヨット以外への取付・使用した事による、破損・損害などについては、弊社は一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。
- * 本製品を改造して取り付けられた場合や、誤った取付による不具合・損害などにつきましては、保証の対象外となります。
- * 指定以外の部品を使用すると、事故や不具合の原因になる事があるため、必ず付属品や指定の部品を使用してください。
- * 本製品の組立・取付には専門技術と経験が必要です。作業は専門業者にて、複数人数で行ってください。
- * 作業を行う際は、作業に適したスペースを確保できる場所をお選び、周囲の安全を確認してください。
- * 作業は幼児のいない場所で行ってください。また、ネジなどの小物部品を乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込む恐れがあります。
- * 作業は必要に応じて、作業手袋・作業衣服・ヘルメット・保護メガネなどを着用の上、注意して行ってください。
- * 工具などを使用する際は、特に充分取扱いに注意してください。
- * 本製品は金属製です。頭や手、足など、人体の上に落とさないように充分注意してください。また、作業における全てのケガ・故障・破損などにつきましては弊社は一切の責任を負いかねます。
- * 付属品を無くさないよう注意してください。
- * パイプのカットや穴あけなど加工を行う際は、充分注意してください。一度加工されたパイプの交換はできません。
- * 使用頻度にかかわらず経年劣化による不具合が発生し、性能が低下することあります。予めご了承ください。
- * 本製品はマリン仕様となっておりますが、長く・安全にご使用いただくために、組立・取付時に防錆処理を行ってください。
- * オーニングシートは撥水加工です。防水加工ではありません。本製品はあくまで日除け器具となっております。雨天時の長時間使用や大雨などで強い水圧がかかった場合、水が浸透してくる恐れがあります。また、霧雨のように細かい粒子の雨でも、水が浸透してくる恐れがあります。
- * 本製品、及び付属品の仕様は改良の為に予告なく変更する場合がございますので予めご了承ください。

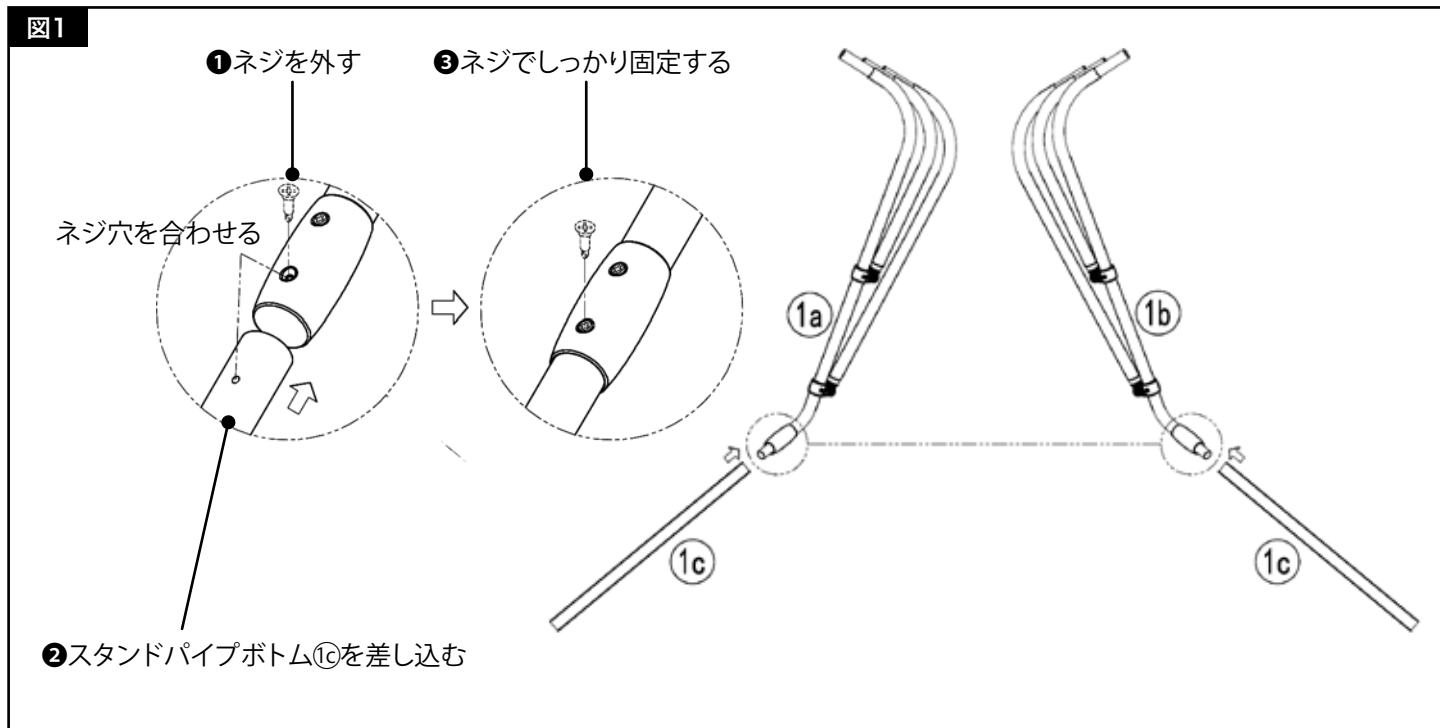
免責事項について

火災、地震、第三者による好意、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な状況下でのご使用による不具合・損傷・損害が生じた場合、保証の対象外となります。

STEP.1 スタンドパイプを組み立てる

スタンドパイプトップ①a①bに付属しているネジ（スタンドパイプボトム側）を外す。

図1のように、スタンドパイプボトム①cをスタンドパイプトップ①a①bの接合パーツへしっかりと差し込む。接合パーツのネジ穴とスタンドパイプボトム①cのネジ穴を合わせて、外したネジで固定する。



STEP.2 リア側のルーフパイプにSUSナックル⑧を差し込み、ホロ⑤のパイプポケットに各ルーフパイプを挿入する。

図2のように、リア側のルーフパイプにSUSナックルを差し込む。

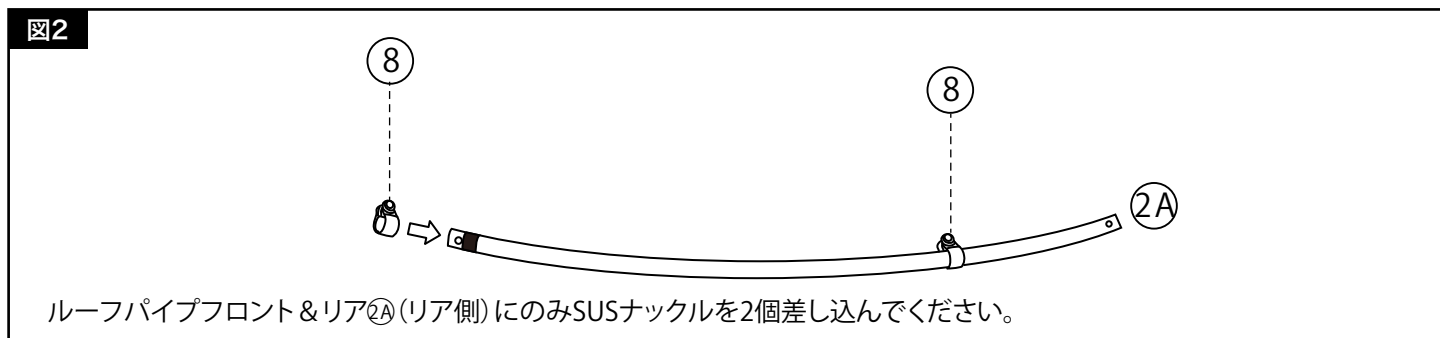
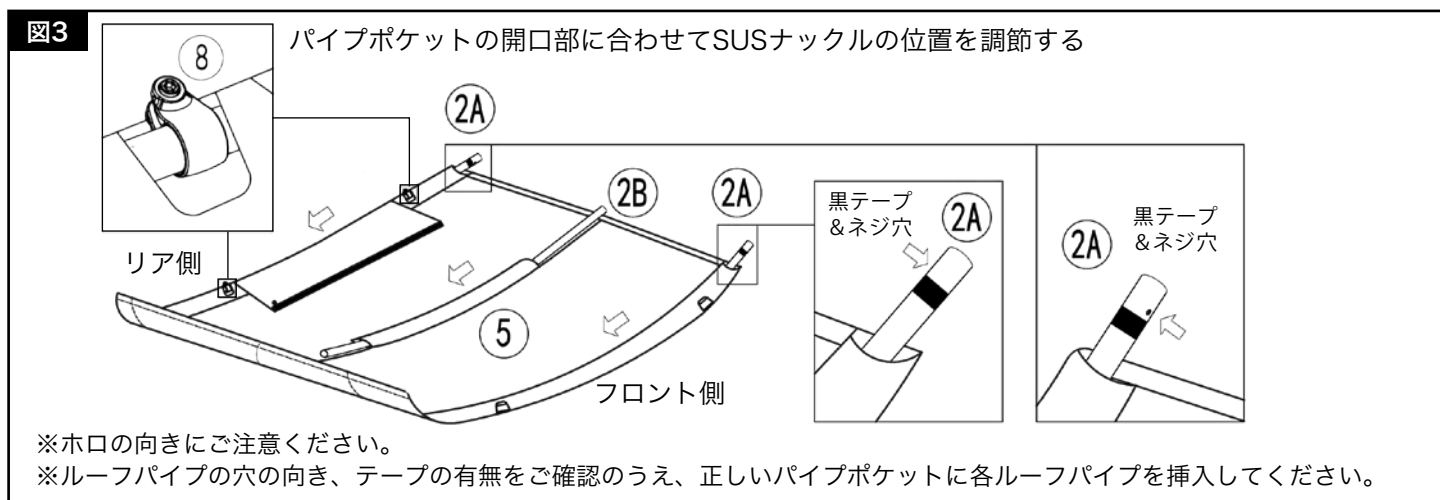
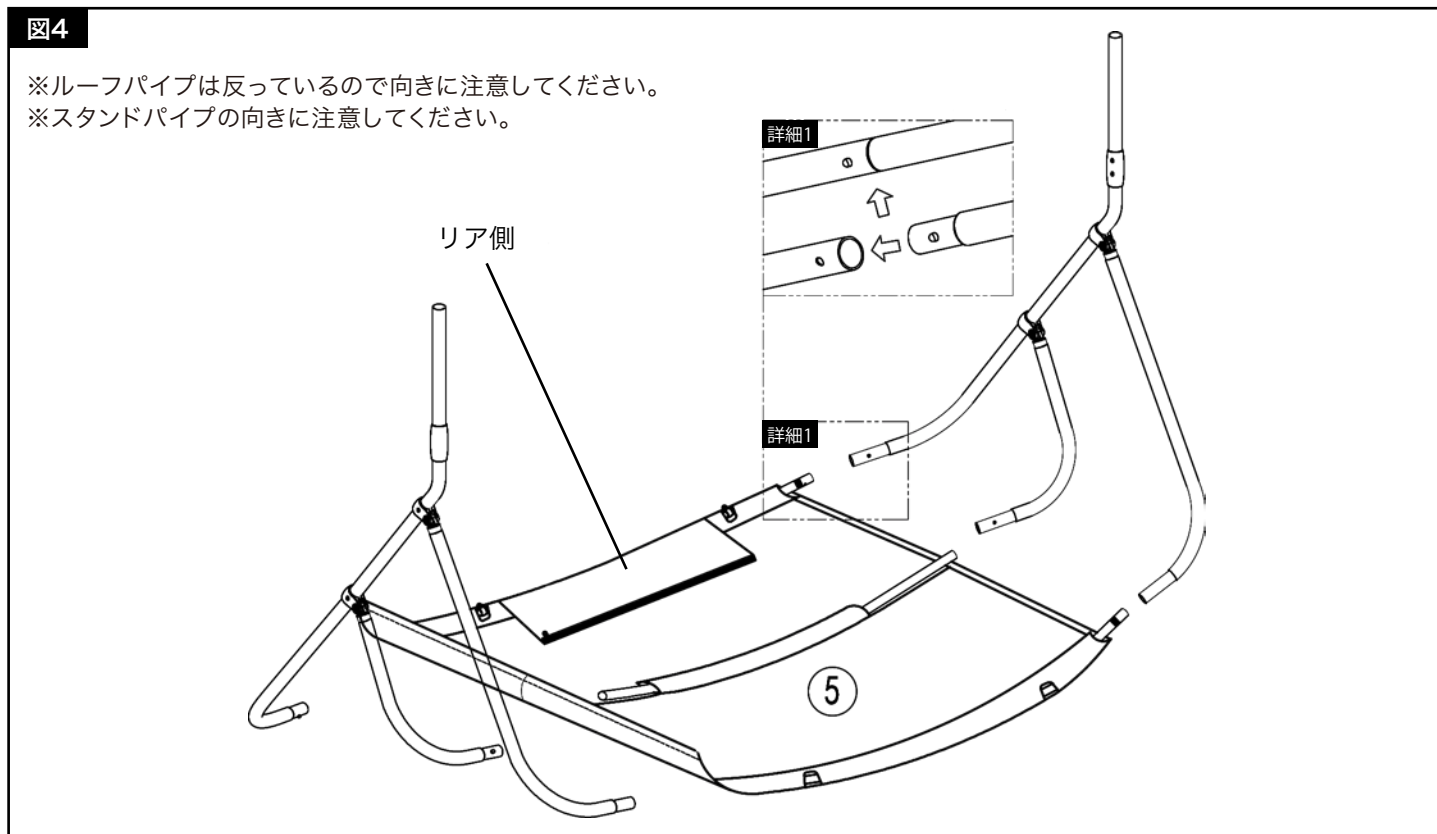


図3のように、ホロのパイプポケットに各ルーフパイプを挿入する。



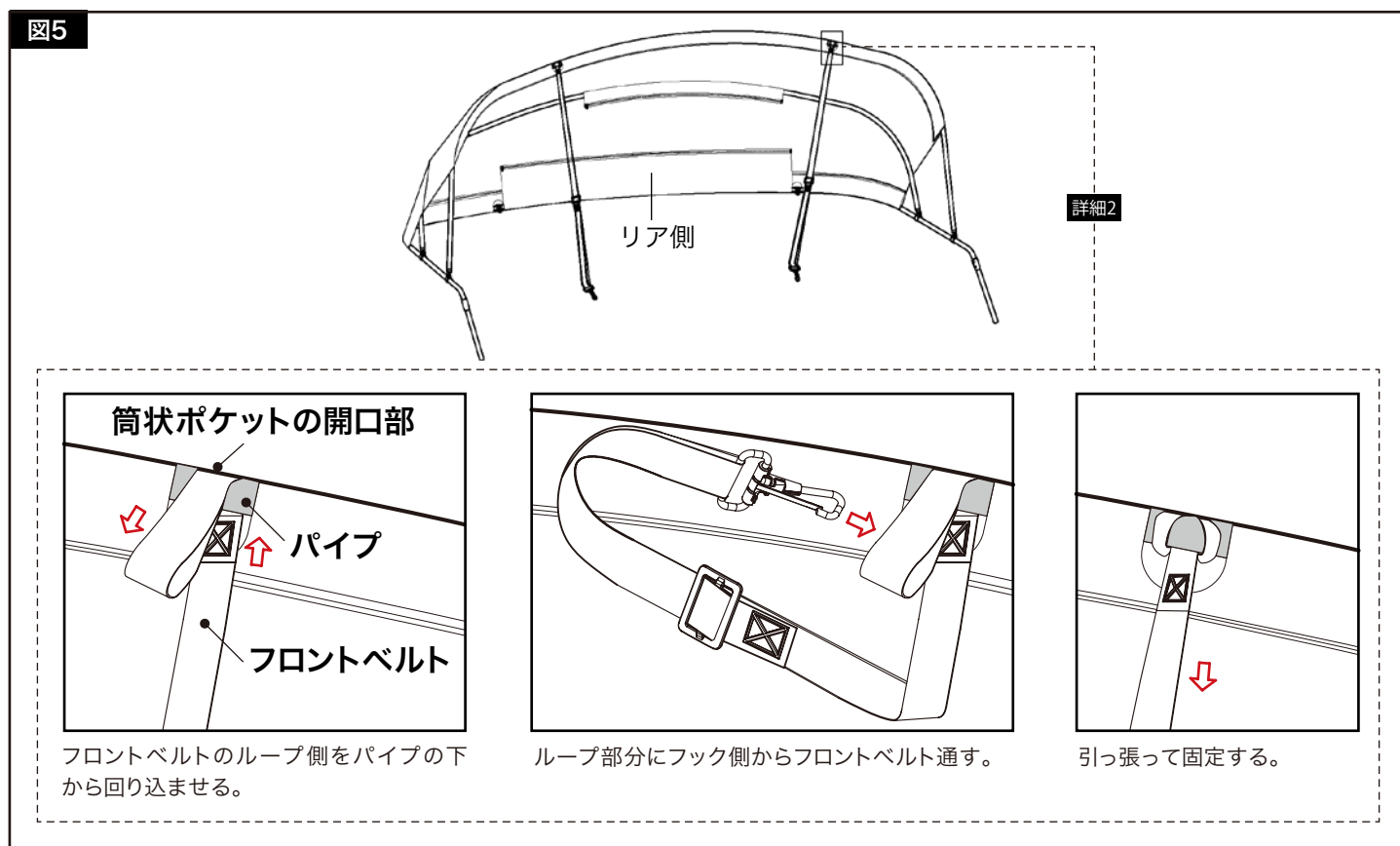
STEP.3 ルーフパイプにスタンドパイプを取りつける。

図4のように、ルーフパイプのネジ穴とスタンドパイプのピンを合わせて、ルーフパイプにスタンドパイプを差し込む。
詳細1のように、ピンがロックされるまでしっかりと差し込んでください。



STEP.4 フロントベルトを取付ける。

図5のように、フロントベルトをルーフパイプ（フロント）にセットしてください。

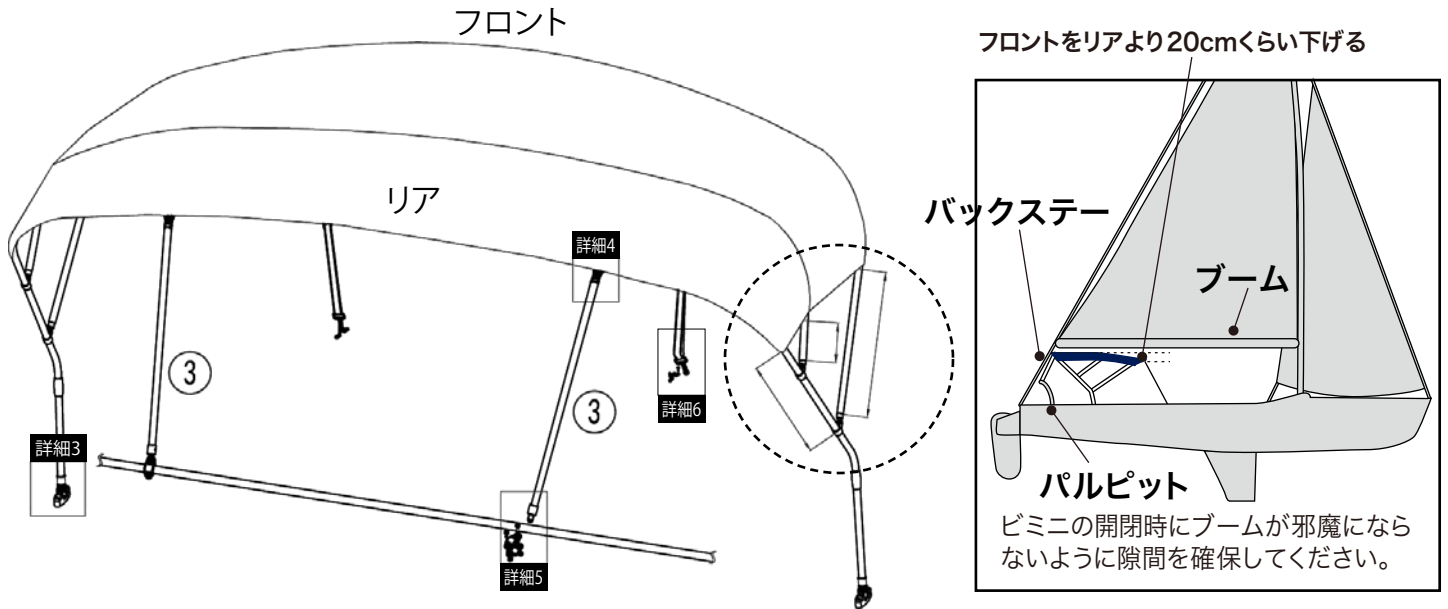


STEP.5 セールボートに本製品を取りつける。

オーニングを広げてバックステーとブームとの間隔を確認しながら、スタンドパイプの取付位置を決めてください。

※ オーニングを広げたときにフロント側がリア側より20cmくらい下がるように調節してください。
(走行時の空気抵抗を軽減するため)

※ ホロから露出するスタンドパイプの長さが同じになるようにホロの位置を調節してください。点線内----のパイプの長さを測り、左右の長さを合わせることを推奨しています。



高さ調節が必要な場合。

金ノコなどでスタンドパイプのボトムを切断して高さ調節してください。

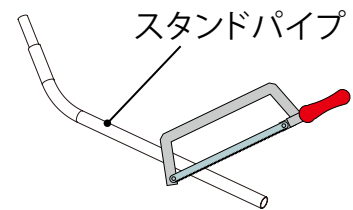
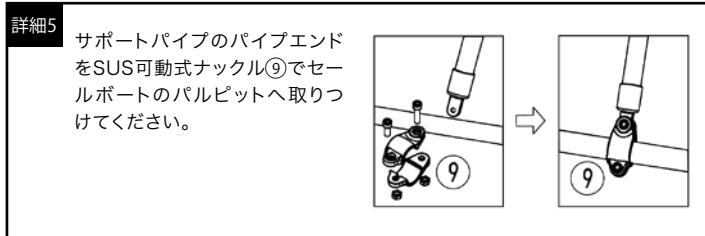
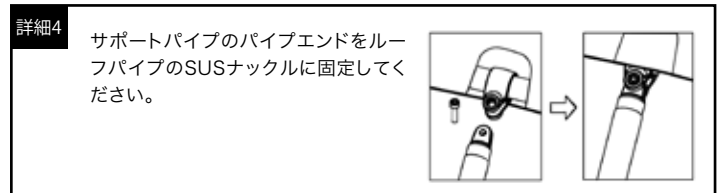
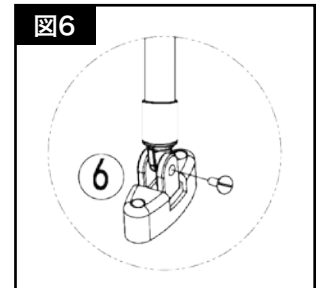
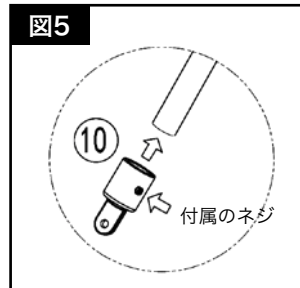


図5のように、スタンドパイプ、サポートパイプの先端にパイプエンド⑩を差し込み、パイプエンドに予め付属していたネジで固定してください。

図5でスタンドパイプに取りつけたパイプエンド⑩にSUSデッキマウント⑥を図6のように取りつける。

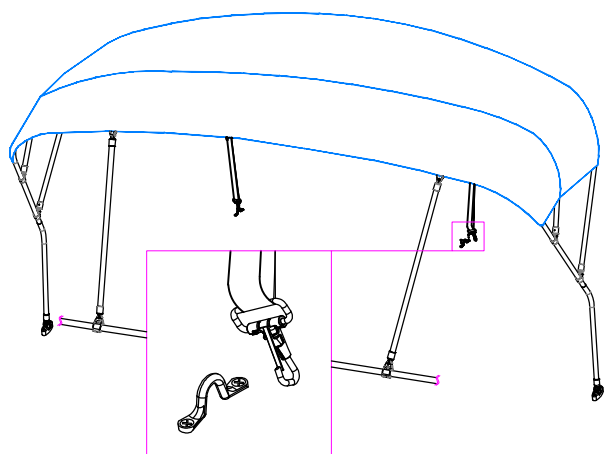
詳細3、詳細4、詳細5、詳細6のように、各パーツを取りつけてください。

ボートへの取付用のネジは付属しておりません。取付対象に合わせてお客様にてご用意ください。
タッピングビスでは強度的に弱い可能性がありますのでボルト・ナット・ワッシャーで固定する事をおすすめします。
[SUSデッキマウント] [ネジ穴サイズ:Φ6.5mm(M6用)]
[サドルアイ] [ネジ穴サイズ:Φ4.3mm(M4用)]



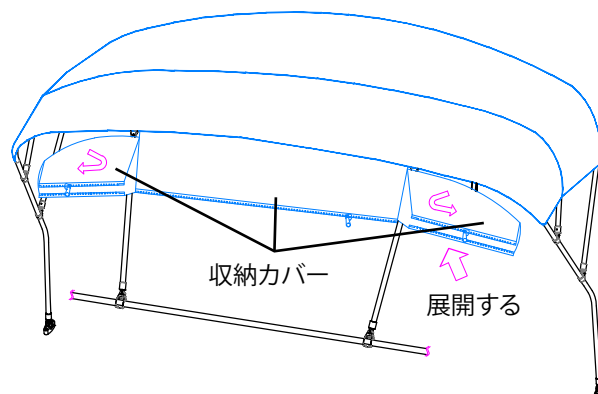
オーニング(ホ口) 収納方法

STEP.1 フロントベルトを外す。

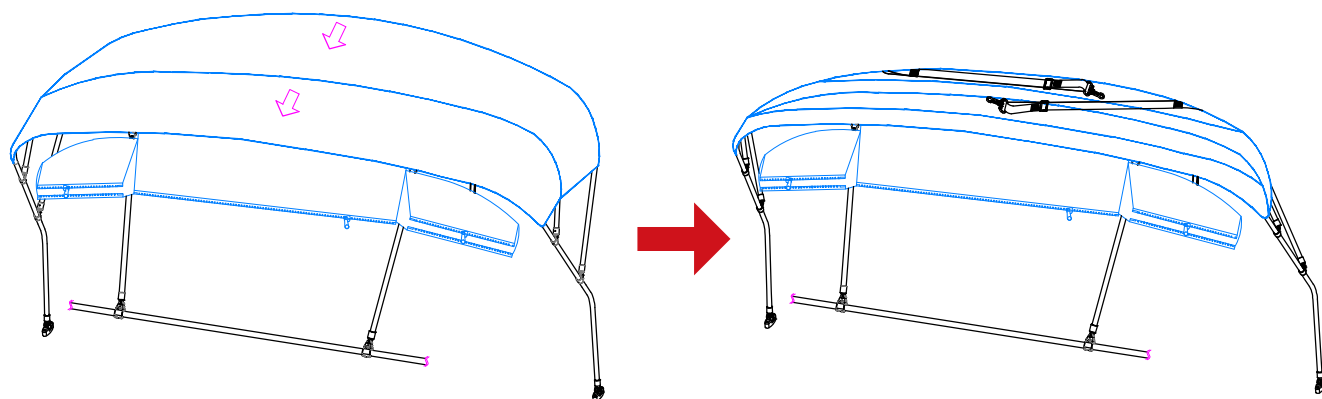


STEP.2 収納カバーを出す。

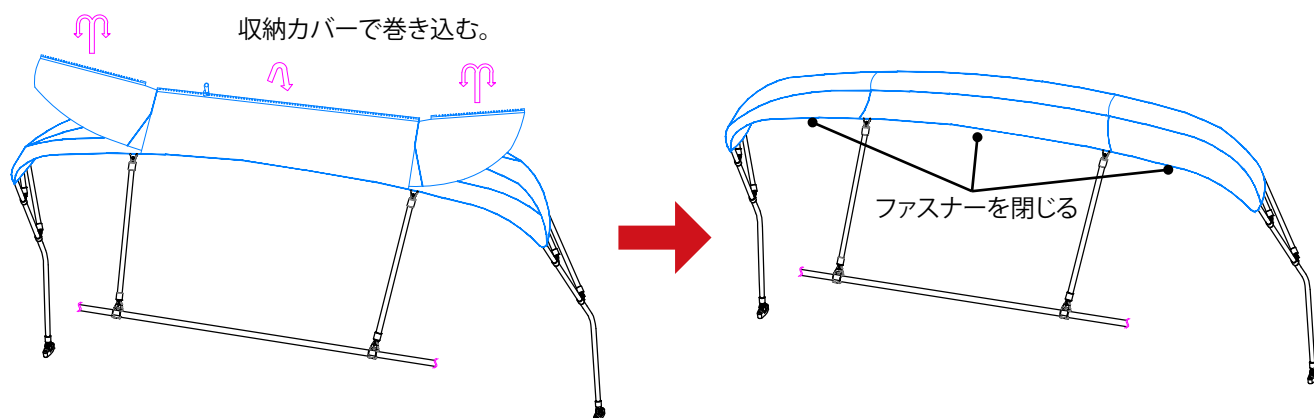
- ファスナーを開けて収納カバー部分を展開する。



STEP.3 フロントパイプをリア側に折り畳む。(フロントベルトも同時に折り畳む。)



STEP.4 収納カバーでオーニングを巻き込み、ファスナーを閉じる。



総販売元 株式会社ビーエムオージャパン

URL: <http://www.bmojapan.jp>

〒468-0004

愛知県名古屋市天白区梅が丘1-1120 TEL 052-804-5050(代)

マリン事業部

TEL 052-848-7911 FAX 052-804-5858

✉ marine@bmojapan.com